

Southern Cross

2021.5 Vol.69



サザンクロス

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構は、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

●編集発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階
TEL (024) 947-4400 FAX (024) 947-4475

新事業創出育成

●起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営 ……P02

●新製品開発から事業化までを支援

1 令和3年度 各種助成事業募集のお知らせ ……P03

2 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

郡山サテライトの開設 ……P03

人材育成・研究開発促進

●産学官連携による人材育成

「Meister's College(マイスターズ・カレッジ) 2020」

災害に強い企業を目指す

ちびっ子マイスターズ・カレッジ2020

中学生向け医工連携人材育成事業

“医療の道を歩む、未来への第一歩” ……P04

●研究開発・事業化支援

令和2年度 産学金官連携コーディネート業務 ……P05

起業家育成・起業化支援

●企業連携の促進

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 ……P06

研究開発推進部会

— 3フォーラムの開催 — ……P07

須賀川方部アドホック研究会 ……P09

●ICTを活用した産業の振興

郡山オープンイノベーション(KOI)会議 ……P09

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

ICT交流事業 ……P10

情報化人材育成・研修事業 ……P10

ICT高度利用推進事業 ……P11

総会・監査会・ボードメンバー会議 ……P11

令和3年度の主な事業・イベント ……P11

イベントへの出展 ……P12

テクノインフォメーション

令和2年度 理事会等の開催報告 ……P12

令和3年度の主な事業・イベント ……P12

役員・職員等の紹介 ……P13

ごあいさつ

ものづくり支援機関として

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田康雄…P01

ものづくり支援機関として

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



東日本大震災及び東京電力原子力災害から10年が経過し、その間、新型コロナウイルス感染拡大や大震災の余震と見られる福島県沖大地震の発生など、自然災害による影響もあり、昨年度は思うような企業訪問ができませんでした。当機構のコーディネート業務が実り、「エゴマ自動選別機（福箕：ふくみ）」の完成など、大きな成果を上げることができました。

当機構の設立原点は「ものづくり企業の支援を通じて福島県産業の振興を図る」ことであり、今年度におきましても産総研「福島再生可能エネルギー研究所」や「ふくしま医療機器開発支援センター」、さらには「福島県ハイテクプラザ」、県内各大学などと連携しながら、当機構の強みを活かした3つの事業を積極的に展開してまいります。

一つには、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援です。平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業に利用いただき、新製品開発や新分野進出に貢献して参りました。現在の入居企業は、医療機器、ロボット、ICT関連企業など10社に入居いただいております。今後も、「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーション施設として、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』、試作品づくりのための『設備』、経営・技術面からの『人材』支援、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を積極的に図ってまいります。

二つには、技術コーディネーターによる支援です。大手、中小製造業経験者による現場感覚の支援が企業訪問件数の増加につながり、受発注案件などの

様々な相談増に加え、企業と大学等との連携、企業と企業の連携案件も具体的に進展するなど、大きな強みを発揮しております。今後も、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いでまいります。

三つには、産学金官連携による支援です。連携の実を上げるには、そのとりまとめ役となる存在が必要です。「新事業創出」や「人材育成・研究開発促進」、「起業化支援」などの業務推進にあたって、連携のとりまとめを率先して担うことで、様々な案件が着実に進展するよう引き続き努めてまいります。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会につきましては、地域ICT伸展のために、ロボット・プログラミング教室の開催、労働力不足解消や働き方改革に繋がるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）セミナー開催等を通じて企業への更なる普及に努めてまいります。加えて、イノベーションコースト構想が進められている浜通り地方との連携を図るため、「ロボットテストフィールド（RTF）」の活用支援、原子力発電所廃炉計画への協力も進めて行かなければなりません。その他、5G、DX（Digital Transformation）等、新しい環境への対応を心掛け、時代を見据えた事業に取り組んでまいります。

基本財産の運用は、益々厳しさを増しておりますが、選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただき、ものづくり企業にとって無くてはならない機構であり続けるための仕事をしてまいりますので、関係各位のなご一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

》》》 こんな考えをお持ちの企業の皆様、是非当機構をご利用ください。

新分野に
挑戦したい

人材の育成を
したい

技術相談を
したい

取引を
拡げたい

など

郡山地域
テクノポリス推進機構

ものづくり企業を
応援します

当機構
沿革

1986年（昭和61年）3月に、福島県、テクノポリス圏域6市町村（郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村、石川町、三春町）、圏域企業の基金造成（約15億円）により設立。

起業化支援

ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営

ものづくりインキュベーションセンター
建物外観

当機構は、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携を行っています。

当センターは、「ものづくり」による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室[11室]のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。

また、研究開発・事業化支援のための専門家を配置し、様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学等の知的財産や産業支援ネットワークを活用し、入居者の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。

センターからの
支援メニュー

研究開発による新製品の創出、起業化・事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「**場**」、試作に必要な基本的「**設備**」、及び技術のハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「**人材**」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「**機会**」を提供します。

場

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な**起業支援室** [実験室タイプ(2室)/事務室タイプ(9室)]、**試作センター**や**会議室**、**展示コーナー**を設置しています。

設備

「試作センター」には試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシニングセンター等を、「会議室」には映像/音響設備等を備えています。

機会

入居者等の研究開発事業の成果を金融機関やマスコミ等に広く周知し、起業化・事業化を支援するための「成果発表会の開催」や「展示コーナー」に成果品展示などの機会を提供します。

人材

- インキュベーションマネージャーによる入居者等への研究開発・事業化支援や、専門家を配置し様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学の知的財産や産業支援ネットワークを活用して入居者等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。
- 管理員/技術コーディネーターによる当施設/設備の管理、研究開発/技術の起業化に係る助成/補助事業へのコーディネート、各技術/産業分野の研究会やセミナーの開催、大学や公設試験研究機関等の研究者との連携や郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成への支援をします。



▲ 起業支援室(実験室タイプ)



▲ 起業支援室(事務室タイプ)



▲ 試作センター



▲ 成果品展示コーナー

展示
コーナーの
ご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、入居企業・卒業企業等の研究成果品を展示してありますので、ぜひご覧ください。

■ **ASTコイル**
(高出力な高効率モーターコイル)

(株)アスター

■ **バスケットワイヤー
カテーテル**

(株)アイアールメディカル工房

■ **監視カメラシステム
「AiMO(アイモ)」**

(株)エムケー技研

■ **薄型多機能カード位置測位システム**
(屋内外対応)

(株)ソーシャルエリアネットワークス

■ **うめめん UMAIMEN**

アルファ電子(株)

■ **アルミ電池**
(一次電池 試作品)

(株)プロトンシステム

■ **D-haT(ディーハット)
試作 第3号機**

(株)国際情報ネット

■ **安心ひつじ**
(睡眠センサー)

(株)テレジャパン(卒業企業)

■ **生キャラメル**
(6種類のフレーバー生キャラメル)

(株)向山製作所(卒業企業)

■ **バイオマスガスステーション
メタン分解装置(改質器)**

SAISEI LLC(卒業企業)

入居者紹介 (令和3年4月現在)

| 起業支援 番号 | 入居企業名 | 業種等 | 本社 | 入居日 | 主な研究開発テーマ | 会社PR |
|------------|---|---|-------------|----------------|---|---|
| 1 | 株式会社アスター 代表取締役 本郷 武延 | 輸送機械関連産業 | 秋田県 横手市 | 平成29年 4月1日 | 高効率モーターコイルの研究開発 | 研究開発型企業として豊かな自然に恵まれた秋田から世界初を造り続け、世界中に届ける事を目指しています。 |
| 2 | 株式会社アイールメディカル工房 代表取締役 河邊 大輔 | 医療機器製造販売業 | 郡山市 | 平成30年 3月1日 | 血管内治療用カテーテルの研究開発 | 脳血管内治療に特化した製品の開発を進めております。 |
| 3 | 株式会社エムケー技研 代表取締役社長 諸根 理仁 | ロボティクス/メカトロニクス 応用機器の研究開発、設計、 製造並びに販売等 | 田村市 | 平成31年 4月1日 | ソフトウェアの受託開発 監視カメラシステム・IoT機器・ロボットの研 究開発と販売 | 弊社はソフトウェアの受託開発、監視カメラシステム・IoT機器・ロボットの研究開発と販売を行っております。 |
| 4 | 株式会社Social Area Networks 代表取締役 森田 高明 | 製造業、情報通信業 | 東京都 中央区 | 平成30年 3月1日 | LPWAをベースとした機器の研究開発 カードタイプのIoTデバイスの開発(Jcard) | LPWA無線ネットワークシステムを構築するための機器・ソフトウェアの研究、開発、販売をしている会社です。 |
| 5 | 株式会社マイステック 代表取締役 金井 しのぶ | 医療機器製造販売業 | 郡山市 | 平成28年 7月11日 | 脊椎手術用開創器システムの開発 (MT-LINEレトラクターシステム 低侵襲開 創器システム) | 当社は、整形外科・外科手術で使用する手術器械等を中心に開発から製造・販売を行う医療機器メーカーです。医療機器をMade in Fukushimaで発信。 |
| 6 | アルファ電子株式会社 代表取締役 樽川 久夫 | 電気機械器具製造業 | 天栄村 | 令和2年 6月20日 | 米粉100%のグルテンフリー麺の研究開発 | 医療機器、ヘルスケア関連の開発事業及び新事業として始める米粉をつかった加工品等、食品関連事業の研究開発を行い、新たな市場の開拓に挑戦します。 |
| 7 | 株式会社ハンドレッド 代表取締役 栢本 直行 | 実験用・研究用器材の開発 ・製造 | 郡山市 | 令和2年 12月1日 | 実験動物用福祉配慮型器具の開発・製造 | 自然と動物、医療福祉、食を事業の柱とし、より良い社会に繋がる製品・サービスを開発しています。 |
| 8 | 株式会社プロトンシステム 代表取締役 緑川 勲 | 電子機器製造業 | 宮城県 仙台市 | 平成31年 1月4日 | 水素生成とアルミニウム一次電池の開発 | アルミニウム一次電池の開発 二酸化炭素 回収 再利用 脱原発の代替エネルギーの開発 |
| 9 | 株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋 | ソフトウェア開発業務 インフラ整備、インフラ 構築及び電気通信事業 | 千葉県 柏市 | 平成29年 10月1日 | 超高齢化社会に向けた介護支援ロボット 開発 | 「子ども向けコミュニケーション・ロボット」の開発を通じ、若いメンバーによるソフトウェア開発、システム構築を行う拠点を郡山地域に作ることを目指しています。 |
| 10 | 株式会社Fu-tech 代表取締役 高山 正文 | 機械装置開発事業 サプリメント開発事業 | 兵庫県 加古川市 | 令和2年 2月1日 | ・機械装置の開発、設計、製造、販売 ・菊芋を使ったサプリメントの開発 | 機械分野として機械装置の開発、設計、製造、販売をする会社です。また、農業分野では農家と提携し、農作物の生産、加工、販売をします。 |
| 11 | 株式会社benefic 代表取締役 小林 聖 | 情報処理業 | 山形県 山形市 | 令和元年 6月1日 | アプリやWebのチェックを行う「第三者検 証」の研究開発 人事評価システムの研究開発 | 弊社は、(東北地方を中心に)アプリケーションやWebページの品質検証を行う「第三者検証」サービスを提供しております。また、新しい形の人材評価システムを開発予定であり、就職活動の新常識を創り出したいと考えております。 |

新製品開発から事業化までを支援

令和3年度 各種助成事業募集のお知らせ

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発や起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

1 F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段階のフィージビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性の調査検討=F/S)を行う場合に経費の一部(助成対象経費の2/3以内で100万円を限度)を助成します。

2 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で200万円を限度)を助成します。ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボットに関する技術高度化に要する研究については300万円を限度とします。

※その他、技術高度化研修助成事業等があります。詳しくは、当機構にお問い合わせください。

3 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で300万円を限度)を助成します。

令和2年度に助成を行った企業の紹介▶▶▶

研究開発助成事業

〈実施期間〉
令和2年 10月26日～令和3年 3月26日

申請者 株式会社Social Area Networks

IoT技術を使ったデマンドコントロールシステムの開発

デマンドコントロールシステムにIoT技術(LPWA無線技術等)を取り入れ、低コストなデマンドコントロールシステムの開発。

地域技術起業化助成事業

〈実施期間〉
令和2年 7月1日～令和2年 12月31日

申請者 株式会社マイステック

日本製手術器械のブランド化

日本製手術器械の良さを大切にした「新しい」日本の手術器械をより明確且つ効果的に発信するためのブランド化。

新製品開発から事業化までを支援

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)郡山サテライトの開設

当機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産官学連携活動を活性化し、日本大学と企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・振興に寄与するため、「ものづくりインキュベーションセンター」内に「NUBIC郡山サテライト」を平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じています。(令和2年度 実績:4件)

主な ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋 ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供
相談内容 ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介 ・その他、知的財産・産学連携活動の推進及び地域産業の活性化に資すること

【開設日時】 毎月第4水曜日 午前10時から午後4時まで。事前申込みが必要です。
【開設場所 及び申込み先】 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
【電話】 024-926-0344
【E-mail】 monodukuri@nm.net6.or.jp

郡山地域をはじめ県内の中小企業や
個人の方が対象です。相談は無料です。

令和3年も
開催予定

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください

産学官連携による人材育成

「Meister's College 2020」(マイスターズ・カレッジ2020)



▲福内常務理事の挨拶

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、ものづくり中小企業の中核となる技術者の方々を対象に、日本大学工学部との産学連携により、人材育成事業として平成18年度から継続開催している「Meister's College」(マイスターズ・カレッジ)を実施しました。

今年度は、事業継続計画(BCP)を策定するために役立つ知識を修得する講座を開催しました。

開講式では、当機構の福内常務理事が「自社の事業継続力強化のため、多様な知識の習得により皆さんの事業が更に発展されるよう期待している」と挨拶しました。また、根本日本大学工学部長が祝辞を述べました。



▲根本日本大学工学部長の祝辞

災害に強い企業を目指す

令和元年の台風19号による当圏域の災害、特に日本大学工学部周辺における災害をテーマとした「日本大学工学部によるキャンパス周辺の水害のメカニズム及び対処について」の事例紹介が行われました。

その後、ミネルヴァペリタス株式会社 代表取締役の松井裕一郎氏から、事業継続計画(BCP)の策定～地震・風水害・新型コロナ感染症への対応～として、事業継続計画作成のためのポイント等について講義が行われました。

開催日 令和2年 10月12日(月)

会場 ビッグパレットふくしま4階 プレゼンテーションルーム

講演内容 日本大学工学部によるキャンパス周辺の水害のメカニズム及び対処について(事例紹介)

講師 ●日本大学工学部 土木工学科 教授 金山 進氏
●日本大学工学部 建築学科 教授 森山 修治氏

講座内容 事業継続計画(BCP)の策定 ～地震・風水害・新型コロナ感染症への対応～

講師 ミネルヴァペリタス株式会社 代表取締役 松井 裕一郎氏



| 時間 | 項目 | 講師等 | 講演・講座内容 |
|-------------|-----|--------------------------------|--|
| 10:00~10:10 | 開講式 | | |
| 10:15~10:55 | 講演 | 日本大学工学部 教授 金山 進氏 | 日本大学工学部によるキャンパス周辺の 水害のメカニズム及び対処について(事例紹介) |
| 11:05~11:45 | 講演 | 日本大学工学部 教授 森山 修治氏 | |
| 昼食休憩(1時間程度) | | | |
| 13:00~17:00 | 講座 | ミネルヴァペリタス株式会社 代表取締役 松井 裕一郎氏 | 13:00~13:30 事業継続概論 ※座学 |
| | | | 13:30~16:30 事業継続計画(BCP)の策定 ※ワークショップ |
| | | | 16:30~17:00 事業継続力強化計画認定制度の解説 ※座学 |

日本大学工学部 土木工学科
教授 金山 進氏

◀コロナ対策をとしての開催

日本大学工学部 建築学科
教授 森山 修治氏◀ミネルヴァペリタス株式会社
代表取締役 松井 裕一郎氏

▶ちびっ子マイスターズ・カレッジ2020

▶中学生向け医工連携人材育成事業「医療の道を歩む、未来への第一歩」

上記2つのイベントは、本年度は新型コロナウイルスの影響により、開催が中止となりました。

研究開発・事業化支援

令和2年度 産学金官連携コーディネート業務

郡山市から、『産学金官連携による新事業・新産業創出を推進する。また、企業訪問による新たな連携可能な企業の発掘や情報収集も継続的に実施する』ことを目的とした委託業務を当機構が受託しました。

| | |
|------|--------------------------|
| 発注者 | 郡山市 |
| 件名 | 産学金官連携コーディネート業務 |
| 受託期間 | 令和2年 5月1日から 令和3年 3月26日まで |

産学金官連携コーディネート業務の、主な実績は以下の通り。

1 企業訪問

① 市内企業への訪問

- のべ139社(令和3年 3月26日現在)… 令和2年度は、主に、金属製品製造業、生産用機械器具製造業、情報サービスの業種の企業を中心に訪問を行った。

② 郡山市産業振興事業への参画推進

■ KORIYAMA TECH MEET-UP (こおりやまテック ミートアップ)

〈開催日〉 令和2年 12月24日(休) 14:00~17:00
 〈場 所〉 郡山市音楽・文化交流館 大ホール

■ KORIYAMA Tech Boot Camp (こおりやまテック ブートキャンプ)

〈開催日〉 令和2年 5月から 令和3年 1月まで〈全5回〉
 〈場 所〉 郡山商工会議所 外

2 各種支援機関が一体となった企業支援

① 合同企業訪問件数

- のべ64回(令和3年 3月26日現在)…自治体や産業支援機関、研究機関等と連携し、合同で企業訪問を行った。

3 学術研究機関と市内企業とのマッチング

① 研究・産業支援機関等への訪問

- のべ36回(令和3年 3月26日現在)…大学等高等教育機関や研究機関、医療機関等の学術・研究機関へ訪問し、ニーズ等の把握を行うとともに、企業等とのマッチングを支援した。

② 産学金官による事業化支援

エゴマ自動選別機の製品化

- 日ノ出工機(株)
- 福島県農業総合センター
- 福島県発明協会
- 郡山市産業創出課



骨粉碎機の開発

- (株)アサカ精機
- (株)サージカルスパイン
- 総合南東北病院
- ふくしま医療機器開発支援センター
- 日本大学工学部
- 郡山市産業創出課



4 その他

市内企業の情報や、企業の製品等を掲載した小冊子の作成。

企業連携の促進

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス地域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織(アライアンス)を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

令和3年3月1日現在、54社が参画しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、研究開発推進部会(フォーラム)を開催するとともに、当形成会議を広く知ってもらうため、特別講演会を開催しました。



役員会▶



特別講演会▲



特別講演会▲



特別講演会▲

事業体系

令和2年度

形成会議

役員会

事務局

特別講演会

研究開発推進部会

■ ロボットテクノロジーフォーラム

〈コーディネーター〉: 日本大学工学部機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏
 〈ボードメンバー企業〉: 東成イーピー東北株式会社 / 株式会社日東紡テック / 林精器製造株式会社 / 福島コンピューターシステム株式会社

■ 健康医療福祉産業創生フォーラム

〈コーディネーター〉: 日本大学工学部機械工学科 教授 片岡 則之 氏
 〈ボードメンバー企業〉: 株式会社ニチオン / アルファ電子株式会社 / 日本全業工業株式会社 / 株式会社エヌジェイアイ / 株式会社アサカ精機 / 有限会社エスク

■ サステナブル地域づくりフォーラム

〈コーディネーター〉: 日本大学工学部土木工学科 教授 中野 和典 氏
 〈ボードメンバー企業〉: 株式会社ユアテック 須賀川営業所 / 株式会社あおい / 株式会社アーバン設計 / 陸奥テックコンサルタント株式会社 / 株式会社アルサ / 株式会社北斗型枠製作所

受発注推進部会

■ 企業製品・研究成果等 発表会(プレゼン会)

研究開発プロジェクト

■ 生しいたけ自動選別機研究開発プロジェクト

林精器製造株式会社 / 日本大学工学部 / JA全農福島

■ エゴマ自動選別機製品化

日ノ出工機株式会社 / 福島県農業総合センター / 福島県発明協会 / 郡山市産業創出課

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 役員一覧

令和3年 3月31日現在

| 役員 | 氏名 | 企業名 | 会員役職名 |
|------|-------|-------------|---------|
| 最高顧問 | 高木 茂保 | エスケー電子工業(株) | 取締役相談役 |
| 会長 | 大槻 努 | 作田電機(株) | 代表取締役社長 |
| 副会長 | 水上 哲夫 | (有)ぱすわーど | 代表取締役 |
| 委員 | 高橋 晃一 | (株)アーバン設計 | 代表取締役 |
| 委員 | 樽川 久夫 | アルファ電子(株) | 代表取締役 |
| 委員 | 石橋 克郎 | 石橋ハマプラス(株) | 代表取締役 |
| 委員 | 高島 伸幸 | (有)エスク | 代表取締役 |

| 役員 | 氏名 | 企業名 | 会員役職名 |
|----|-------|-----------------|--------------|
| 委員 | 神田 雅彦 | 神田産業(株) | 代表取締役 |
| 委員 | 吉田 尚正 | (株)古城光科学 | 代表取締役社長 |
| 委員 | 森尾 和衛 | 日本全業工業(株) | 専務取締役 |
| 委員 | 益子 邦雄 | 林精器製造(株) | 業務執行取締役経営本部長 |
| 監査 | 長谷川 潔 | 陸奥テックコンサルタント(株) | 専務取締役兼調査本部長 |
| 監査 | 遠藤 正成 | (株)北斗型枠製作所 | 代表取締役 |

事業方針

※当形成会議への入会は随時受け付けています。詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

- 1 会員企業相互の強みを生かしたアライアンス(連携、協調)を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指す。
- 2 会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指す。
- 3 会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図る。
- 4 会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図る。

郡山テクノポリス地域 戦略的アライアンス形成会議 1 会議・交流会等の開催

① 役員会

【開催日】 令和2年 5月 22日(金) …Web会議
 令和2年 8月 6日(木)
 令和2年 11月 26日(木)
 令和3年 3月 17日(水)

【会場】 ものづくりインキュベーションセンター ほか

【参加者】 当形成会議役員

【内容】 ・令和元年度 事業報告及び収支決算報告について
 ・令和2年度 事業計画(案)及び予算(案)について
 ・令和2年度 役員(案)について
 ・新規会員企業について ほか

② 総会・交流会

【開催日】 令和2年 6月4日(木)

【会場】 書面決議

【参加者】 36名(回答者)

【内容】 ・令和元年度 事業報告 及び 収支決算報告について
 ・令和2年度 事業計画(案) 及び 予算(案)について
 ・令和2年度 役員について

③ 特別講演会

【開催日】 令和3年 3月17日(水)

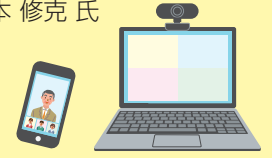
【会場】 ものづくりインキュベーションセンター 及びWeb講演

【参加者】 直接参加者:20名
 Web参加者:23名

【内容】 当形成会議を広く知ってもらうため、会員以外も聴講できる講演会を開催しました。
 講師には、「日本大学工学部」の工学部長 根本修克氏をお招きし、ご講演いただきました。

【演題】 材料化学を基盤とする産学連携

【講師】 日本大学工学部
 工学部長 根本 修克 氏



郡山テクノポリス地域 戦略的アライアンス形成会議 2 受発注推進部会

受発注推進部会は、会員企業の有する技術、手法、情報、経験などを認識することで、アライアンス(企業連携)や受発注を推進するための部会です。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催をしませんでした。

郡山テクノポリス地域 戦略的アライアンス形成会議 3 研究開発推進部会

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。

現在、分野別に

- サステナブル地域づくりフォーラム
- 健康医療福祉産業創生フォーラム
- ロボットテクノロジーフォーラム

…と3つの研究会が活動しています。右記に、これら研究会の活動状況を紹介します。

サステナブル地域づくりフォーラム

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。

第7回 サステナブル地域づくりフォーラム

- 開催日** 令和2年 10月24日(土)
- 参加** 50名
- 会場** 郡山ビューホテル / 医療法人仁寿会 菊池医院
- 内容** コーディネーターからの話題提供及び菊池医院の視察等
- テーマ** 子育て世代を中心として考えるサステナブル地域づくり

▼医療法人仁寿会菊池医院 新診療所の見学



▲菊池院長による診療所案内

▲浦部教授による診療所設計時の説明

① ロハスを学ぶ自然系教材としての アクアポニックスの活用

〈講師〉日本大学工学部 土木工学科
教授 中野 和典 氏

中野教授による話題提供▶



③ LOHASの舗装 ～人と環境に優しいみちづくり～

〈講師〉日本大学工学部 土木工学科
助教 前島 拓 氏

前島助教による話題提供▶



② 健康で行こうよ! — 医・食×空間×まちづくり —

〈講師〉日本大学工学部 建築学科
教授 浦部智義 氏

浦部教授による話題提供▶



④ 持続可能な子どもの成育環境の樹立を目指して ～小児科診療所の取り組み～

〈講師〉医療法人仁寿会 菊池医院
院長 菊池信太郎 氏

菊池院長による話題提供▶



健康医療福祉産業創生フォーラム

今後とも市場規模が拡大すると考えられる、健康・医療・福祉介護分野にテーマを広げ、「新しい医療関連産業の創出・研究開発の推進」を目指します。

第8回 健康医療福祉産業 創生フォーラム

- 開催日** 令和2年 11月4日(水)
13:30~16:00
- 会場** Webセミナー
- 内容** 医工連携 ものづくり企業による
医療機器分野への参入について

【第一部】 ものづくり企業による医療機器参入に関する 事例紹介

〈講演〉ふくしまRENGプロジェクト
ものづくり企業による
医療機器国産化への取り組み

〈講師〉
●株式会社マイステック 代表取締役 金井しのぶ 氏
●有限会社石山精機 代表取締役社長 石山 武司 氏

【第二部】 臨床工学技士による医療現場のニーズ紹介

〈講演〉
「臨床工学技士からみた医工連携の現状とは」
●総合南東北病院 臨床工学科 技士長 安藤 啓子 氏

ロボットテクノロジーフォーラム

日本のものづくりが今後も成長を続け、安定的に付加価値をウツ見続けるため、企業が抱える、「生産性の向上」、「人材不足」などの一助となるようロボットの今後の活用について幅広く考える場を提供し、事業機会を創出することを目的とし、フォーラムを開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からWebによる講演も行いました。

ロボットテクノロジーフォーラム2020

- 開催日** 令和2年 12月7日(月)
- 会場** ものづくりインキュベーションセンター
及びWeb講演
- 参加** 48名
- 内容** 〈担当コーディネーター〉
日本大学工学部機械工学科 教授 武藤伸洋 氏

〈講演 1〉少子高齢化・アフターコロナ時代のロボット技術
〈講師〉●日本大学工学部機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏
〈講演 2〉ロボット活用によるモノづくり革新
〈講師〉●株式会社エフ・イー・アネックス 代表取締役社長 松枝芳典 氏



会場内の様子▲

武藤氏による講演▲

松枝氏による講演▲

企業連携の促進

須賀川方部アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。

令和2年度
事業内容

会員数 26名(令和3年2月末現在)

会長 神田雅彦(神田産業㈱ 代表取締役)

| | |
|---------|--|
| 4月 定期総会 | 〈書面決議〉 |
| 6月 例会 | 〈月別テーマ検討会〉 |
| 7月 例会 | 〈講習会〉 テーマ:小型電気自動車に関する講演 講師:OFFICE ZERO'S……代表 菅野 司 氏 |
| 8月 例会 | 〈講演会〉 テーマ:新事業に関する取り組み 講師:アルファ電子㈱ …………… 専務取締役 樽川千香子 氏 |
| 10月 例会 | 〈講演会〉 テーマ:世界初、驚異の2,000時間超 アルミ発電池誕生 講師:㈱プロトンシステム 代表取締役 緑川 勲 氏 |
| 11月 例会 | 〈講演会〉 テーマ:バイオマス燃料を用いた 固体酸化物形燃料電池発電について 講師:日本大学工学部電気電子工学科 …………… 教授 渡部 仁貴 氏 |
| 12月 例会 | 意見交換及び事業報告会 |
| 2月 例会 | 須賀川市企業間ネットワークセミナー(Web講演) 参加 |
| 3月 例会 | 次年度事業計画意見交換会 |



8月 樽川専務取締役による講演会▲



10月 緑川代表取締役による講演会▲



10月 緑川代表取締役による実演▲

ICTを活用した産業の振興

郡山オープンイノベーション(KOI)会議の開催



第1回 由本准 教授による企業訪問▲



第1回 由本准 教授による企業訪問▲

郡山市、会津大学、当機構の三者による包括連携協定の締結を受け、企業や地域が持つ課題の解決に向け意見交換を実施しました。

第1回

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和2年 9月8日(火) 13時00分～17時00分 |
| 場所 | ものづくりインキュベーションセンター |
| 参加者 | 3社 |
| 内容 | 産学イノベーションセンター 准教授 由本 聖 氏による 入居企業との情報交換会 |

第2回

| | |
|-----|------------------------------|
| 日時 | 令和2年 12月18日(金) 15時15分～16時30分 |
| 場所 | 会津大学 |
| 参加者 | 5名 |
| 内容 | 次年度の事業内容等に係る意見交換。 |

産学官連携による人材育成

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構や郡山高度情報化システム研究会などと連携して、テクノポリス圏域内のICT化支援、高度情報化の推進を図るため、圏域内市町村、各種団体・企業、大学・情報系高校・専門学校等の協力のもとさまざまな事業を展開しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定されていたちびっ子マイスターズカレッジが開催できなくなるなど、多少の影響がありましたが、実施された主な事業は次の通りです。なお、令和3年度については、RPA並びにDX関連講座を継続し、福島大学や会津大学等と連携した小・中学生を対象としたロボット教室やパソコン組み立て体験学習の実施、情産協等ICT関連企業や国際情報工科自動車大学校等と連携した就職支援活動を実施して参ります。

ICT交流事業

【セーフコミュニティフェスタ“こおりやま”2021】作品発表

郡山市セーフコミュニティ国際認証取得3周年を記念し、「セーフコミュニティフェスタこおりやま2021」を開催した。今回は、新型コロナウイルス感染対策のため、集客イベントから情報発信イベントに転換し、令和3(2021)年2月6日(土) 9時00分から市ウェブサイトにて配信した。



展示内容 ▶ ハッカソン2019 入賞3作品(マパナラ・アクションファイ・災害どん)

第1回 (期間) 令和3年 2月1日(月)~2月7日(日)まで
(会場) 郡山市立中央公民館 1階多目的ホール

第2回 (期間) 令和3年 2月8日(月)~2月14日(日)まで
(会場) 日和田ショッピングモルフェスタ店 2階

第3回 (期間) 令和3年 2月15日(月)~2月21日(日)まで
(会場) イトヨーカドー郡山店 4階

2月13日発生の福島県沖地震の影響により、開催を中止。

情報化人材育成・研修事業

産学連携IT人材育成事業

第9回 ロハス工学シンポジウム

ウェビナー(Webセミナー)形式により開催
(日本大学工学部 キャンパス強靱化プロジェクト報告会)

未曾有の大水害からキャンパスとその周辺地域を守るには?

2019年10月に発生した台風19号の豪雨に伴う阿武隈川のや徳定川の反乱により、当機構の研究施設「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を含む、日本大学工学部周辺地域が浸水被害を被りました。この種の災害に対して最も安全であるべき大学キャンパス及びその周辺が被災したことは大きな問題を提起しました。

そこで日本大学工学部では「キャンパス強靱化プロジェクト」を立ち上げ、被害の現象把握やメカニズムの解明、学生の避難行動パターンの調査及びキャンパス内避難所設置の具体策などについて研究を重ねてきた。その研究の成果を報告するもの。

〈日時〉令和2年 10月17日(土) 13:00~16:00

〈会場〉日本大学工学部 50周年記念館(ハットNE) 3階
大講堂(メイン会場)とWebによるウェビナー方式を採用

〈報告会〉概要説明…工学研究所長 岩城一郎 教授

- 「浸水被害メカニズムの解明に資する情報基盤の構築」情報工学科 中村和樹 准教授
- 「浸水被害メカニズムの解明」土木工学科 金山 進 教授
- 「70号館(避難所)及びキャンパス内施設の強靱化」建築学科 森山修治 教授
- 「阿武隈川の河川整備状況及び郡山市洪水ハザードマップ」

国交省東北地方整備局福島河川国道事務所 福島陽介 所長/郡山市河川課 池田 剛 課長

〈パネルディスカッション〉

コーディネーター:岩城一郎

コメンテーター:品川万里 郡山市長、高橋迪夫・長林久夫 日本大学
名誉教授、土木工学科 朝岡良浩 准教授、前述の登壇者

〈共 催〉郡山市

〈後 援〉(公財)郡山地域テクノポリス推進機構



情報化人材育成事業

ちびっ子マイスターズ・カレッジ2020

【コンピューター動かし隊!】

新型コロナウイルス感染拡大により
開催が中止となった。



Connect2020 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)

Web形式により実施

今年度の「Connect 2020 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)」は、従前のような方法では密が避けられないことから、一定のアプリ作成期間を設けて、指定日にプレゼン並びに審査を行い各賞を決定する方法によった。

〈日時〉令和3年 2月20日(土) 13:00~17:00

〈会場〉テクノ事務室をメイン会場とし、審査員各位は
それぞれの場所で「Zoom」を使用した。

〈運営進行〉(株)福島情報処理センター 大久保 仁 氏(エフスタ代表)

〈運営協力〉エフスタ!!、日本マイクロソフト(株)、アーバンテータチャレンジ2020実行委員会

〈共 催〉郡山市、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

〈後 援〉須賀川市、鏡石町、石川町、玉川村、三春町、郡山商工会議所、須賀川商工会議所、
鏡石町商工会、石川町商工会、玉川村商工会、三春町商工会、郡山高度情報化システム研究会

〈入賞チーム名 及び アプリケーション名〉

- 郡山市長賞
 - 🏆 若遊団(じゃくゆうだん)
(福島コンピューターシステム(株))
 - 🏆 地域活性化システム
(イベント情報確認、混雑予想)
 - マイクロソフト賞
 - 🏆 FICBチーム
(株)福島情報処理センター)
 - 🏆 飯.net
 - アイデア賞
 - 🏆 D4TJ(国際情報工科自動車大学校)
 - 🏆 Kizuna
 - 優秀賞
 - 🏆 FICチームA
(株)福島情報処理センター)
 - 🏆 ハザードマップ Ver.コロナ
 - Connect2020(ニューコメ)賞
 - 🏆 さがねん2020
(福島県立テクノアカデミー郡山)
 - 🏆 水害予習 with AR in 郡山
- 🏆 …チーム名 🏆 …アプリケーション名

ICT高度利用推進事業

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) セミナー Web

働き方改革の一環として期待され、業務効率化の威力から、業界・地域を問わず注目を集めているRPAについて学んだ。

〈日時〉令和2年 8月26日(水) 13:30~15:00

〈会場〉Zoomを使用したWebセミナー

〈参加者〉40名

〈講師〉

- 日本RPA協会、RPAテクノロジーズ(株) 東日本エリア統括部 東北オフィス リーダー ……永岡 翼 氏
- ソフトバンク(株) 5G&IoTエンジニアリング本部 東北IoT技術部 ……山本浩己 氏
- 郡山市 ソーシャルメディア推進課 ……三代川和弘 氏
- 郡山市 行政マネジメント課 ……馬場守吉 氏

〈共催〉(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

〈後援〉圏域内市町村、商工会議所・商工会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山高度情報化システム研究会

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは
ソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。特に、事務を補完・代行する仕組み。

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) ハンズオンセミナー

働き方改革の一環として期待され、注目を集めているRPAの実務について学んだ。

〈日時〉令和2年 9月16日(水) 10:00~16:00

〈会場〉郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター「会議室」

〈参加者〉8名

〈講師〉

- ソフトバンク(株) 5G&IoTエンジニアリング本部 東北IoT技術部 ……山本浩己 氏

〈共催〉(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

〈後援〉圏域内市町村、商工会議所・商工会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山高度情報化システム研究会



セミナーの様子▶

働き方改革セミナー

新型コロナウイルス対策や市場環境の変化に伴い、企業や自治体においてICTを活用した新しい働き方への対応がますます必要となってくる。今回は、ツール・制度などの環境整備に加え、自社の風土づくりへの取組みなど、様々な企業活動に役立つ情報を紹介して頂いた。

〈日時〉令和2年 7月15日(水) 13:30~15:00

〈会場〉Zoomを使用したWebセミナー

〈参加者〉45名

〈演題〉先進事例に学ぶ! これからの働き方への備えと環境整備
～サイボウズのテレワーク実践事例～

〈講師〉サイボウズ(株) 仙台営業所 所長 武田卓也 氏、難波夕季 氏

〈共催〉(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

〈後援〉圏域内市町村、商工会議所・商工会
郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山高度情報化システム研究会



マイクロソフトセミナー

～クラウド、IoT、AI Microsoftの取組み～

ハッカソン参加者向けとして、マイクロソフト社の取組みについて最新情報を紹介して頂いた。

〈日時〉令和3年 2月6日(土) 13:00~15:00

〈会場〉テクノポリス事務局【Teams】

〈参加者〉22名(ハッカソン参加予定者及び関係者)

〈講師〉マイクロソフト(株)

シニアテクニカルスペシャリスト
太田 寛 氏

〈共催〉(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

総会・監査会・ボードメンバー会議

監査会

【日時】令和2年 4月17日(金) 12:00~

【会場】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構「会議室」

【内容】令和元年度
事業報告・一般会計決算書の監査

総会

【日時】令和2年 5月12日(水)

【会場】書面決議の方法による

【出席者】18名(表決数18通)

【内容】令和元年度 事業報告・収支決算書、令和2年度事業計画(案)・収支予算(案)の件、令和2年度委員・役員の内、ボードメンバー委員補充選任の件

第1回 ボードメンバー会議…【Web】

【日時】令和2年 6月17日(水) 14:30~

【会場】郡山地域ものづくりインキュベーションセンター「会議室」(メイン)

【出席者】15名(うちオブザーバー2名、事務局4名)

【内容】総会報告、ボードメンバー委員補充選任の件、令和2年度 年間スケジュールの件

第2回 ボードメンバー会議…【Web】

【日時】令和2年 10月14日(水) 14:30~

【会場】郡山地域ものづくりインキュベーションセンター「会議室」(メイン)

【出席者】14名(うちオブザーバー2名、事務局4名)

【内容】働き方改革セミナー、RPAセミナー、同ハンズオンセミナー、Connect2020「ハッカソン」(案)の件

第3回 ボードメンバー会議…【Web】

【日時】令和3年 2月17日(水) 14:30~

【会場】郡山地域ものづくりインキュベーションセンター「会議室」(メイン)

【出席者】13名(うちオブザーバー2名、事務局2名)

【内容】「セーフコミュニティフェスタこおりやま」、Connect2020「ハッカソン」並びに令和3年度 事業計画(案)について

| 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 令和3年度 年間スケジュール | | 4月 | 5月 | 6月 |
|---|--|-------------------------|--|---|
| 7月 | ●DXセミナー① (オンライン)(未定) | ●令和2年度決算監査 (4/14(水)) | ●令和3年度総会 (5/14(金)) 郡山ビューホテルアネックス | ●第1回ボードメンバー 会議(オンライン) (6/16(水)) |
| 8月 | ●アイデアソン(オンライン or Wiz) ●ジュニアマイスターカレッジ~中学生、小学生5,6年向け ロボット制作教室(講師:福島大学 高橋隆行研究室ほか) | | | |
| 9月 | ●DXセミナー②(オンライン)(未定) ●RPAセミナー(オンライン)(未定) | | | ●第2回ボードメンバー会議 (10/20(水)) |
| 11月 | ●Connect2021 ハッカソン (開催方法:ワーケーション 等を利用予定) | 12月 | ●DXセミナー③ (未定) | 1月 |
| | | | ●DXセミナー④ (未定) | 2月 |
| | | | | ●セーフコミュニティフェスタ2022作品展示 ●第3回ボードメンバー会議 |

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

イベントへの出展

【会場】ビッグパレットふくしま

県内外から多くの来場者が見込まれるイベントに出展し、当機構が取り組む事業紹介や、ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業の成果発表の場として活用しました。

| こおりやま産業博 | ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIFふくしま) | メディカルフリエーションふくしま (オンライン開催) | ロボット・航空宇宙フェスタふくしま |
|--------------------------------|--|--|--|
| 開催中止 新型コロナウイルスの影響により中止となった。 | 【開催日】 令和2年 10月28日(水)、29日(木) 【来場者】5,347人 | 【開催日】令和2年10月16日(金)、17日(土) 【来場者】特設サイト来場者数 10月16日(金) 2,083人 / 10月17日(土) 1,149人 合計3,232人 出展企業・団体数: 157 | 【開催日】令和2年 11月27日(金)、28日(土) 【来場者】3,000人 【オンライン視聴者】580人 |

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

令和2年度 理事会等の開催報告

令和2年 4月1日 ~ 令和3年 3月31日

● 理事会

- 第1回** 【日時】令和2年 6月12日(金)
【場所】ビッグパレットふくしま
【内容】令和元年度 事業報告及び決算ほか
- 第2回** 【日時】令和2年 6月30日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】理事長及び常務理事の選定
- 第3回** 【日時】令和2年 7月14日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】評議員会招集(役員補充選任)
- 第4回** 【日時】令和3年 2月16日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】基本財産の取崩し
評議員会招集(基本財産の取崩し)
- 第5回** 【日時】令和3年 3月24日(水)
【場所】インキュベーションセンター
【内容】令和2年度 業務執行状況及び補正予算
令和3年度 事業計画及び当初予算
評議員会招集(役員補充選任)

● 監査会

- 【日時】令和2年 5月22日(水)
【場所】ビッグパレットふくしま
【内容】令和元年度 事業及び決算

● 評議員会

- 第1回** 【日時】令和2年 5月8日(金)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】補充評議員4名及び補充理事3名の選任
- 第2回** 【日時】令和2年 6月30日(火)
【場所】ビッグパレットふくしま
【内容】令和元年度 事業報告及び決算
令和2年度 事業計画及び収支予算
任期満了による理事及び監事の選任 ほか
- 第3回** 【日時】令和2年 7月28日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】補充評議員1名及び補充監事1名の選任
- 第4回** 【日時】令和3年 3月2日(火)
【場所】決議の省略の方法による開催(書面)
【内容】基本財産の取崩し

令和3年度の主な事業・イベント

4月

- ・助成事業公募

5月

- ・INC入居者審査委員会(5/12)
- ・アライアンス役員会(5/13)
- ・監査会(5/24)

6月

- ・アライアンス総会・プレゼン等(6/4)
- ・理事会(決算)(6/10)
- ・評議員会(決算)(6/29)

7月

- ・技術等審査委員会
- ・サステナブル地域づくりフォーラム

8月

- ・マイスターズ・カレッジ(8月~11月)
- ・INC入居者審査委員会

10月

- ・助成事業 第2回公募
- ・アライアンス・企業製品・研究成果等発表会
- ・REIFふくしま(10/13~14)
- ・こおりやま産業博
- ・健康医療福祉産業創生フォーラム

11月

- ・産学官連携フォーラム
- ・メディカルフリエーションふくしま

1月

- ・技術等審査委員会
- ・INC入居者審査委員会

2月

- ・アライアンス特別講演会

3月

- ・理事会(予算)

郡山市、会津大学、当機構の3者による「郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)」も実施しております。その他、須賀川方部アドホック研究会では、毎月定例会を開催します。

役員・職員等の紹介

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員

【任期:令和2年 6月30日~令和4年 6月定時評議員会】 令和3年 5月10日現在(順不同・敬称略)

| | | |
|------|-------|-------------------------------|
| 理事長 | 滝田 康雄 | 郡山商工会議所会頭 |
| 常務理事 | 福内 浩明 | 郡山商工会議所専務理事 |
| 理事 | 森尾 和衛 | 日本全業工業(株)専務取締役 |
| 理事 | 澁谷 重二 | 郡山地区商工会広域協議会会長 富久山町商工会長 |
| 理事 | 岩谷 幸雄 | 郡山地域テクノポリス推進協議会副会長 玉川村商工会長 |
| 理事 | 根本 修克 | 日本大学工学部長 |
| 理事 | 佐藤 理夫 | 福島大学共生システム理工学類長 |
| 理事 | 菊地 勝弘 | 鏡石町産業課長 |
| 理事 | 佐藤 康博 | 石川町企画商工課長 |
| 理事 | 塩田 敦 | 玉川村産業振興課長 |
| 監事 | 芳賀 良 | (株)大東銀行常務執行役員本店営業部長 |
| 監事 | 嶋原 健二 | 三春町産業課長 |

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

【任期:平成30年 6月28日~令和4年 6月定時評議員会】 令和3年 5月10日現在(順不同・敬称略)

| | | |
|-----|-------|-------------------------------|
| 評議員 | 伊藤 清郷 | 郡山商工会議所副会頭 |
| 評議員 | 山田 慶太 | 郡山商工会議所工業部会長 |
| 評議員 | 神田 雅彦 | 須賀川商工会議所工業部会副会長 |
| 評議員 | 岩城 一郎 | 日本大学工学部工学研究所長 |
| 評議員 | 竹内 誠司 | (株)東邦銀行専務取締役郡山営業部長 |
| 評議員 | 菅野 淳 | 東北電力ネットワーク(株)郡山電力センター所長 |
| 評議員 | 松崎 浩司 | (公財)福島県産業振興センター理事長 |
| 評議員 | 藤城 良教 | 福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長 |
| 評議員 | 佐久間貴士 | 須賀川市経済環境部長 |
| 評議員 | 石澤 哲夫 | 郡山市産業観光部次長兼産業政策課長 |

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会委員

令和3年 4月現在(順不同・敬称略)

| | | |
|-----|-------|-------------------------|
| 会長 | 滝田 康雄 | (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 |
| 副会長 | 根本 修克 | 日本大学 工学部長 |
| 副会長 | 小暮 憲一 | 郡山商工会議所 情報文化部会長 |
| 委員 | 渡邊 達雄 | 須賀川商工会議所 会頭 |
| 委員 | 澁谷 重二 | 郡山地区商工会広域協議会会長 |
| 委員 | 村上 康雄 | 郡山商工会議所 工業委員長 |
| 委員 | 竹谷 金浩 | (株)NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長 |
| 委員 | 瓜生 利典 | (株)エフコム 代表取締役社長 |
| 委員 | 水上 哲夫 | (株)ばすわーど 代表取締役 |
| 委員 | 渡辺 春吉 | 福島県 企画調整部 デジタル変革課長 |
| 委員 | 鈴木 慎也 | 福島県 商工労働部 産業振興課長 |
| 委員 | 栗花 信介 | 福島県 ハイテクプラザ副所長 |
| 委員 | 塚原 馨 | 郡山市 政策開発部長 |
| 委員 | 佐久間貴士 | 須賀川市 経済環境部長 |
| 委員 | 橋本 喜宏 | 鏡石町 総務課長 |
| 委員 | 福内 浩明 | (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事 |
| 監事 | 藤橋 桂市 | 郡山市 産業観光部長 |
| 監事 | 佐藤 嘉秀 | 郡山商工会議所 常務理事 |

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー

令和3年 4月現在(順不同・敬称略)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 竹谷 金浩 | NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長 |
| 水上 哲夫 | (株)ばすわーど 代表取締役 |
| 大槻 努 | 大槻電気通信(株) 代表取締役 |
| 小松 信一 | (株)福島情報処理センター 郡山システム部 部長 |
| 二瓶 幸恵 | (株)エフコム 執行役員兼サービスビジネス本部長 |
| 新藤 純也 | (株)コンピューターシステムハウス マネージャー |
| 和田 秀勝 | WiZ 国際情報工科自動車中学校 学校長 |
| 吉田 正隆 | プリマックス(株) 特販営業担当 |
| 佐藤 賢二 | エリア・マークス(株) 代表取締役 |
| 鈴木 朱美 | 福島リビング新聞社 メディアデザイン本部 本部長(統括編集長) |
| 菅家 元志 | (株)プレインノベーション 代表取締役社長 |
| 大塚 英明 | (株)東邦銀行 郡山営業部 上席副部長 |
| 渡辺 豊 | 郡山市 政策開発部次長兼DX戦略課長 |
| 須田 勝浩 | 須賀川市 経済環境部商工課長 |
| 橋本 喜宏 | 鏡石町 総務課長 |

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

令和3年 4月1日現在

| | | |
|--|-------|-----------------|
| 常務理事 | 福内 浩明 | 郡山商工会議所出向 |
| 事務局長兼事業部長 | 鈴木 秀明 | 郡山商工会議所出向 |
| 事務局次長兼総務部長 | 後藤 隆 | 福島県OB |
| 企画管理課長 | 桜沢 雅史 | 郡山市派遣 |
| 技術振興課長 | 根本 久志 | 須賀川市派遣 |
| 管理員兼技術コーディネーター | 佐藤 喜幸 | |
| 技術コーディネーター | 佐藤 正弘 | |
| 技術コーディネーター | 吉田 裕二 | インキュベーションマネージャー |
| 技術コーディネーター | 節内 一男 | |
| 技術コーディネーター | 内田 吉孝 | |
| 総務担当 | 鈴木 琴子 | |
| 情報化支援担当 (郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会) | 久保田江美 | |



お問い合わせ / ご相談はお気軽にご連絡ください

編集 / 発行 **公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構**
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階
 TEL.024-947-4400 / FAX.024-947-4475

E-mail techno@nm.net6.or.jp URL <http://www.techno-media.net6.or.jp/>



【Facebookページ】<https://www.facebook.com/technoandnmc>

【メールマガジン登録】<http://www.techno-media.net6.or.jp/magazine/index.php>



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。